

正 誤 表

誤りがありましたので、下記のように訂正させていただきます。
ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

2020 春 全国統一公開模試 応用情報技術者 解答・解説

No.	訂正箇所	誤	正
1	P.56 【解答例】設問4	ス : 136	ス : 132
2	P.63 2～6行目、図I直後の1～3行目 P.64 図J直後の1～3行目、図K直後の1～5行目	<p style="text-align: center;">誤</p> <p>このif文が真のときには、「$p \leftarrow \text{deq}()$」によってキュー-LABELから取り出された終点Eでないインデックス p 一つに対して、for文によって上下左右の4回実行される。終点Eのインデックスの場合は、while文の継続条件を満たさないので、比較は行われない。つまり、(α)の行のif文の実行回数は、キュー-LABELに入る終点Eでないインデックスの個数に比例する。</p> <p>(中略)</p> <p>・空欄ス : (α)の行のif文の実行回数は、キュー-LABELに入る終点Eでないインデックスの個数に比例する(4×個数)ので、終点Eにラベル10が付けられるまでのキュー-LABELへの追加の状況、及びその後の処理の様子を検討する。</p> <p>(中略)</p> <p>③③のラベル9をキュー-LABELから取り出し、上下左右の隣接セルを調べていくと、まだ右のセルにラベルが付いていないことが分かるので、ラベル10を付けてキュー-LABELにインデックスを追加する。</p> <p>(中略)</p> <p>次に、③④について上下左右のセルの状態を調べた後(この時点で新たに付けるラベルはない)、③⑤をキューから取り出す。ここで、③⑤は終点Eであるから、while文の条件を満たさなくなり(α)の行のif文は実行されない。③④のセルまでは、隣接する上下左右のセルに対して(α)の行のif文が実行されるので、実行回数は$4 \times 34 = 136$(回)である。したがって、空欄スは「136」となる。</p>	<p style="text-align: center;">正</p> <p>このif文が真のときには、「$p \leftarrow \text{deq}()$」によってキュー-LABELから取り出された終点Eでない削除インデックス p 一つに対して、for文によって上下左右の4回実行される。ただし、終点Eのセルにラベルが付いた場合は、次に取り出したインデックス p に対して while文の継続条件を満たさなくなるので、比較は行われない。つまり、(α)の行のif文の実行回数は、終点Eのセルにラベルを付けるまでにキュー-LABELから取り出したインデックスの個数に比例する。</p> <p>(中略)</p> <p>・空欄ス : (α)の行のif文の実行回数は、終点Eのセルにラベルを付けるまでにキュー-LABELから取り出したインデックスの個数に比例する(4×個数)ので、終点Eにラベル10が付けられるまでのキュー-LABELへの追加の状況、及びその後の処理の様子を検討する。</p> <p>(中略)</p> <p>③③のラベル9をキュー-LABELから取り出し、上下左右の隣接セルを調べていくと、まだ右にある終点Eのセルにラベルが付いていないことが分かるので、ラベル10を付けてキュー-LABELにインデックスを追加する。</p> <p>(中略)</p> <p>次に、③④について上下左右のセルの状態を調べた後(この時点で新たに付けるラベルはない)、③⑤削除をキューから取り出すが、この時点ではすでに終点Eのセル(array[e])にラベルが付いているので、「array[e]がFREEと等しくない」という while文の条件を満たさなくなり(α)の行のif文は実行されない。③③のセルまでは、隣接する上下左右のセルに対して(α)の行のif文が実行されるので、実行回数は$4 \times 33 = 132$(回)である。したがって、空欄スは「132」となる。</p>